

しもそんで  
下ソング遺跡

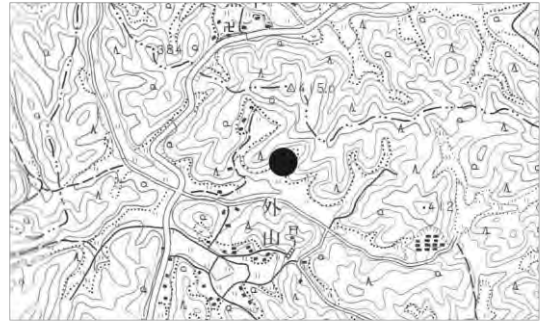
所在地 岡崎市外山町地内  
(北緯 35 度 1 分 1 秒  
東経 137 度 17 分 16 秒)

調査理由 豊田・岡崎地区研究開発  
施設用地造成事業

調査期間 平成 23 年 2 月

調査面積 60 m<sup>2</sup>

担当者 鵜飼雅弘・白井克尚



調査地点 (1/2.5 万「東大沼」)

調査の経過 下ソング遺跡は平成 21 年に実施された県教育委員会の試掘調査により、遺物散布地として確認された遺跡である。豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成に伴う範囲確認調査として、愛知県企業庁より委託を受け実施した。

立地と環境 下ソング遺跡は外山集落の東、標高 360m 前後の沢に立地する。現況は水田である。遺跡の西には松下遺跡が隣接する。

調査の概要 調査では 10 カ所の試掘坑を設置した。調査面積は 60 m<sup>2</sup>である。

このうち TT07 から黒曜石剥片、TT06、TT07 から土師質の鍋、TT09、TT10 からは近世以降の陶器が出土した。しかし土層断面を観察した結果、遺物の出土層位が谷の自然堆積であることが判明した。また TT01、TT02、TT04 の耕作土から、近世以降の陶器が出土した。

以上の所見から、これらの遺物は遺跡の周囲から流れ込んだものと考えられ、今回の調査範囲には、埋蔵文化財包蔵地の所在は認められなかった。また近隣に遺跡の所在も想定されるが、特定することはできなかった。  
(鵜飼雅弘)

